

①地元小学校の児童・教員を救った適切な誘導(岩手県宮古市)

岩手県宮古市の鵜ヶ崎小学校では、避難広報中に小学校に立ち寄った井戸端団員の適切な情報と避難誘導によって、児童の命を守ることができた。

【地域の声】鵜ヶ崎小学校 笹川正校長

地震がおさまり、いったんグラウンドに児童全員を集めていた時に、消防団員の方が来てくれました。消防団の方から、津波がすぐそこまで迫ってきているという事、当初予定していた避難経路は道が崩れていたりして大変危険だという情報を頂き、小学校裏の高台にある神社に避難することにしました。

途中は消防団の方に適切に誘導して頂きながら、なんとか約200名の児童全員を無事に避難させることができました。本当にありがとうございました。



岩手県宮古市鵜ヶ崎地区
児童と地域の皆様

②消防団員と地域住民の絆を実感(宮城県東松島市)

東松島市東名地区の高橋さんは、千葉団員の適切な対応と地域の絆によって救われた。高橋さんは、大きな揺れで家の外に避難はしたものの、警報が聞こえなかったため、津波がくることを全く想定していなかった。しかし、千葉団員や地域住民のおかげもあり、飼い犬とともに命を守ることができた。

【地域の声】東松島市東名地区在住(震災当時) 高橋さん

本当に着の身着のままの避難でした。どこからともなく「津波がくるぞ!」という声で、あわてて高台の方へ逃げました。しかしこれも危険だということになり、近所で顔なじみでもあった千葉さんの車で、ご近所の方も一緒に、より安全な場所まで避難させてもらいました。

千葉さんは、私や地域の他の方に、自分の車の中で暖をとるように勧めてくださり、ご自身は地域のために一晩中活動をされていました。

出産予定日が間近に迫っていた犬も、地域の方の協力もあり、震災当日に車内で無事出産。あの状況で6匹がみんな無事に産まれてくれたことは、本当に奇跡だったと思います。未だに津波が迫ってきたときのことを考えると怖くて仕方ありませんが、今回の震災では千葉さんや地域の方に本当に感謝・感謝です。



宮城県東松島市千葉団員と
高橋さんご一家

③保育所職員と園児を救った適切な指示(福島県いわき市)

地震後に発生した津波を目の当たりにし、動揺していた保育所の職員と園児を、避難広報中だった脇本団員の適切な指示と避難誘導が救った。

【地域の声】いわき市立永崎保育所 安藤さんと和泉さん

津波の第一波が近所の家々をのみ込んでいくのが見えました。「次の波はここまで来てしまうかもしれない」と思い、パニックでした。ちょうどその時に脇本さんが駆けつけてくれました。脇本さんは、お子さんを私が担任として受け持っていたこともあり、顔なじみでした。脇本さんは、「ここにいてはいけない!」と私たちと当時保育所に避難していた地域の方々を、安全な避難所まで誘導してくれました。

避難した後も、家の様子が気になって戻ろうとした私たちを止めてくれました。今回は、一旦波が引いた後に、家の様子を見に戻ってしまった方が、数多く犠牲になられていると聞きました。津波は、第四波、五波と後からきたので、戻っていたら津波にのまれていたかもしれません。本当に命の恩人です。



福島県いわき市脇本団員と
保育所の皆様

※ 消防団員募集リーフレット製作のための取材より。